

横瀬・赤谷ボルダー

2016.3.12 rctK

横瀬町には何箇所かにボルダーエリアがあるが、このボルダーエリアもその1つである。この周辺をハイキングした登山者ならご存じとは思いますが、芦ヶ久保から大野峠に向かう登山道の周辺にはいくつものボルダーが認められる。

ここに紹介するボルダーについては、幾つかは登山道から認められるものの、メインとなるボルダーは見えないため、これまでトライもされずにきたと思われるが、植林帯の中にあるため、雰囲気がいまいちというのも理由かと考えられる。

ボルダー数はそこそこあるが、それなりに楽しめるものは数個であり、お薦めというほどではない。しかし、スラブからハングまでいろいろと多彩なムーヴが楽しめ、また今後もハイグレードな課題はできそうなので、関心を持たれた方がおられたら行ってみたいも構わない。ここ暫く訪れていないのでアプローチは荒れているかもしれないが、多分ボルダーその物はそれほど荒れてはいないと思われる。

アクセスは、車利用が便利である。R299の正丸トンネルを過ぎて暫く下って行き、赤谷トンネルを過ぎると赤谷地区の集落がある。その先の右手に消防小屋が見えるので、その反対側の民家に向かう道が左逆方向に川の方に降りているので、そこに入り橋まで行くと左側に釣り師たちが使うと思われる無料駐車スペースがある。R299沿いにも何か所か停められそうなところはあるが、ここが無難と思われる。電車の場合は、西武秩父線芦ヶ久保駅から徒歩となるが、少々距離がある。

アプローチは、その駐車スペースからR299に上る道があるので、そこを国道に出ると反対側にも続く道がある。さらに集落内の車道を登って行くと大野峠への登山道へと導かれる。登山道を暫く登り、つづら折りの2つ目を過ぎたところに「諏訪神社」と書かれた小さな杭の標識が立っている。標識は注意していかないと見落としてしまうが、そこから登山道から離れ、急な細い坂を少し登ると小さな祠(諏訪神社)に着く。ボルダーはそこから植林帯の中の踏み跡を左上していくと、広い尾根上の所に散在している。

シーズンは通年だが、雨季は植林帯の中なので乾きが遅く不適である。冬でも雪さえ降らなければ南斜面なのでそこそこ快適に登れる。

岩質はチャートで、紹介する幾つかのボルダーに関してはホールドは確りしており、下地も安定しているが、マットがあると安心である。注意事項としては、エリアの下の方には赤谷の集落や畑があるので、大声を出さない、大きな石を落とさない等のマナーを守っていただきたい。

《課題紹介》ここではA、B、G、Hのボルダーのみ紹介する

●A岩(仮称:スラブ岩)

祠から踏み跡を行くと、左下にあるスラブ状フェイスの岩。細かなホールドを拾って登るバランス系。

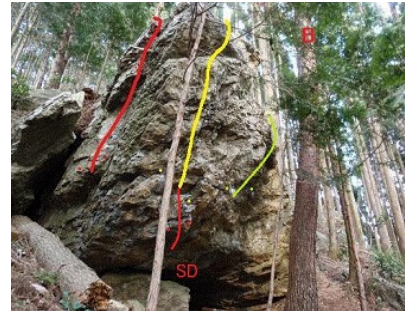


●B岩(仮称:玉串岩)

踏み跡を行くと、右上に見えるハングした大きなボルダー。

ハングのSD課題(たましいのくし:赤から黄色ライン)が面白い。
ハング下の奥の岩は使用しても良い。

今後、SD課題のスタートから黄緑ラインに繋げる課題や右の細かなフェイスに難しい課題のできる可能性あり。

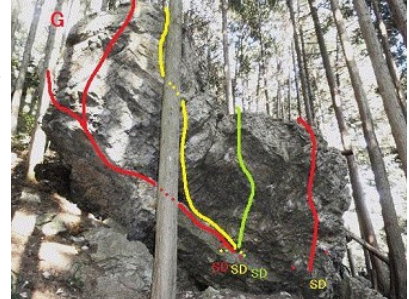


●G岩(仮称:狗岩)

高さはないが全体的にハングした岩。

中央のSD位置から左上していく課題(狛犬:赤ライン左右)が面白い。

右側の面にも易しいSD課題あり。



●H岩(仮称:奥社岩)

横広のそこそこ大きな岩。

左のハングにSD課題など難しい課題ができる可能性あり。

